

目標達成計画

事業所名 グループホーム ぽぶらの家

作成日: 平成 26年 12月 8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	本事業所の運営理念は、開設時からの物であります。その時々ニーズや課題に適合した理念が求められます。	左記の現状の問題点・課題を把握して、運営上必要とする理念を利用者や家族又は関係機関・団体からも具体的で、解りやすいものを設定したい。	グループホームぽぶらの家として、入居者・家族が利用し、日常生活するためのニーズや課題を聴き取り、関係機関等の意見も参考にし、全職員で協議・検討して現状に即応した運営理念を平成27年度から採用したい。	4ヶ月
2	33	本町の医療体制(標茶町立病院は救急指定病院で医師数が不足状態)が希薄であり、重度化や終末期における医師の往診は困難な状況にある。	重度化や終末期の状況になった場合、本人や家族そして事業所も担当医師のところに同行し、診断に基づき症状の説明を受け、対応方針の共有を図りたい。	本人の症状により、家族への連絡は迅速に行い、出来るだけ早い時期に医師から症状の説明を受け、終末期に対する対応を共有し、互いに意向が確認できるように取り組みたい。	迅速に
3	35	災害時の地域住民の協力が大切である。しかし、現在、本事業所の近隣には高齢者世帯が多く、災害時の近隣での地域協力体制は難しい地理的環境にある。	地域住民の協力体制を構築するためには、若年層世帯に協力を仰ぐ必要があり、広範囲になるが協力体制を作りたい。また、備蓄も食料品、衣類、暖房器、水など多面的な備蓄を考えたい。	事業所所在の町内会での協力は難しいところがあるため、隣接する町内会への協力も考えられるので、協議してその体制をつくりたい。なお、備蓄品などは家族の協力も不可欠であり、具体的な対応を検討したい。	6ヶ月
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。